

(天田さんのお母さん)

この人、一人になった時には、どうなるんだろう？ という思いが正直あります。

(小林さん)

個別の避難の計画と福祉避難所というものが、なかなか現実的に実行力のあるものとして、進まない、というのがすごく課題だと私たちも思って、今色々なところにインタビューしているところなんです。沖縄の場合は計画を立てるにあたって、在宅で一人でいた場合、一緒に逃げられる人、援助してくれる人は誰ですか？ を本人が書く欄があるのですね。

なので、本人が家族の名前を書いたり、近所の方の名前を書いたり。もしくは、そういう人がいない場合は、空欄のまま出さなくてはいけない、という状況で、計画として6割位できたとか。全国的にね。

数が拳がってきていても、ここが空欄や、今みたいに元日なので。たまたまお母様と一緒にいられたけれど、これが平日とかお仕事やお買い物に行っていた場合はどうするの？ というのが課題だと思うのですね。

ここに誰かの名前が書いてある、としても実行できる計画なのか、ということ、行政にしっかり意味のあるものにしないと、意味がないじゃないか？ と問いかけていく必要があると思っていますところなんですよね。

(天田さんのお母さん)

後日、相談員の方に元日の助けがなかったんですよね、というお話をしたら、一人暮らしをされている方を最優先に動きました、というお話をいただいて、一人暮らしじゃないのですが、もし潰れてしまっても、下敷きになった状態でも、誰も来ないのかなと思って。